

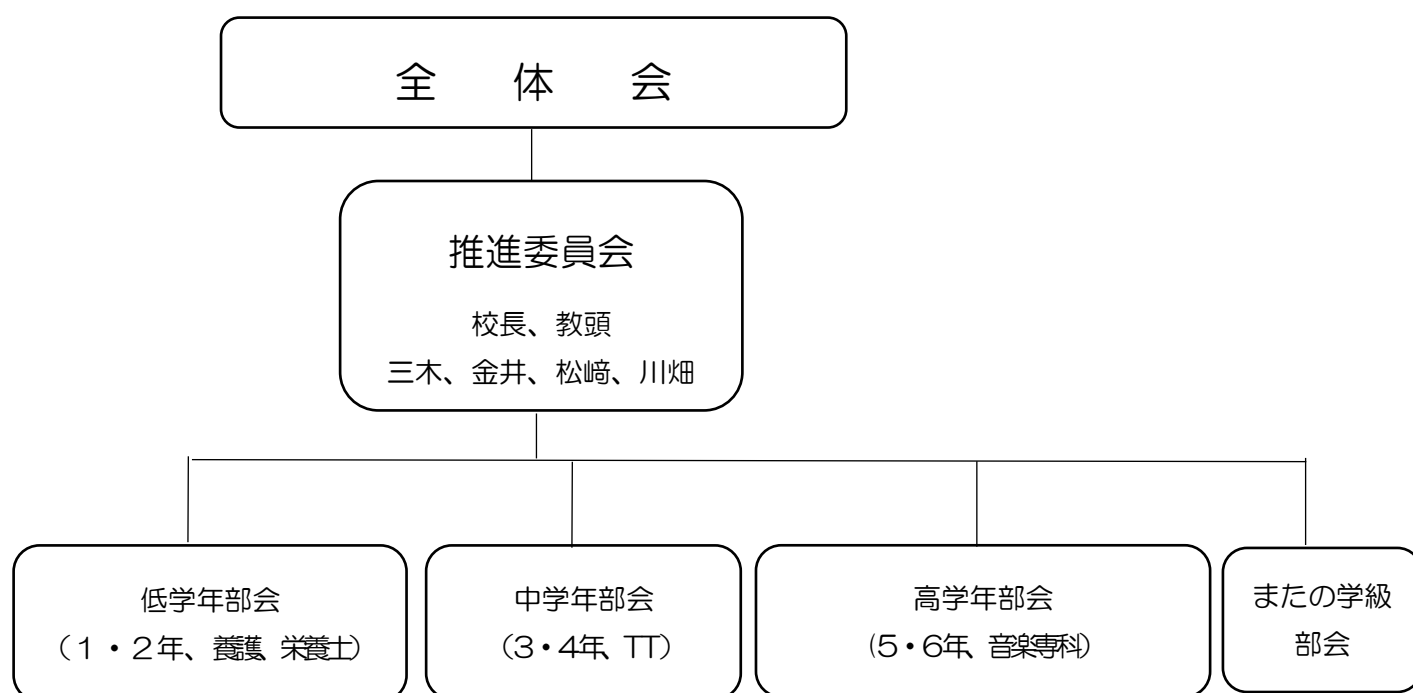
研究テーマ 「進んでやる気の俣野っ子」

～豊かなかかわりを築くための授業実践～

○研究テーマ設定の理由

俣野小学校では、同じ研究テーマで校内研究を続けている。昨年度までは外国語の授業を通して3年間、その前は算数の授業を通して3年間、テーマに迫っていくための授業実践を行ってきた。豊かなかかわりを築いていくことが、子どもたちの前向きな気持ち（やる気）につながっていくと考え、今年度からは、道徳の授業を通して子どもたちの気持ちの掘り起こしを進めていく。子どもたちの変容を研究の中心と捉え、授業実践を行うことを通して、各部会のめざす子ども像に迫っていきたいと考える。

○研究組織



* 推進委員会の役割・・・各部と連絡、活動全体についての原案作成、検討、提案

○研究の進め方

低・中・高・またの級部会に分かれ、それぞれが児童の実態から「めざす子ども像」を設定し、授業作りを進めていく。部会内で全員が研究授業を行うことで、子どもたちの実態・変容の共有と、指導方法の幅を増やしていく。授業者は、授業公開の際、本時の視点（豊かなかかわりについて）を提示する。研究協議では、子どもたちの姿の見取りを中心に、その視点について振り返る。また各部会から、1人の柱の授業者が全体発表を行い、協議会をすることで、学校全体で、子どもたちの変容を捉えていけるようにする。

○研究の内容（部会、全体会）

- | | |
|-----|---|
| 部会 | 低学年・中学年・高学年・またの学級の4つの部会に分かれ、研究する。
（教材開発・指導案検討・授業実践・研究協議） |
| 全体会 | 研究テーマの確認・研究の進め方を話し合う。
各部の研究の成果の発表・まとめ・反省を行う。 |

○研究の重点

豊かなかかわりを築き、めざす子ども像に迫るために、道徳の授業でどのようなアプローチができるのかを研究する。（発問・板書・ICT・対話・ワークシート・振り返りの時間・他教科とのかかわり 等）

1人1授業の発表、柱の授業の全体発表を行い、子どもたちの変容を見取っていく。

☆低学年部会「友だちの考えや思いに 興味をもてる子」

- ・物事に対する自分の考えをもつ。
- ・他者の考えを聞く。

☆中学年部会「様々な人の考えを知り 認めることができる子」

- ・物事に対する自分の考えを話す。
- ・他者の考えを聞き、受けとめる。

☆高学年部会「多様な価値観を知り、自己を見つめなおす子」

- ・物事に対する自分の考えを伝える。
- ・他者の考えを聞き、受け入れる。

☆またの学級部会「伝え合い、認め合える子」

- ・自分の気持ちを言葉やカードなどで相手に伝える。
- ・相手の話を聞く。相手の気持ちに気づく。